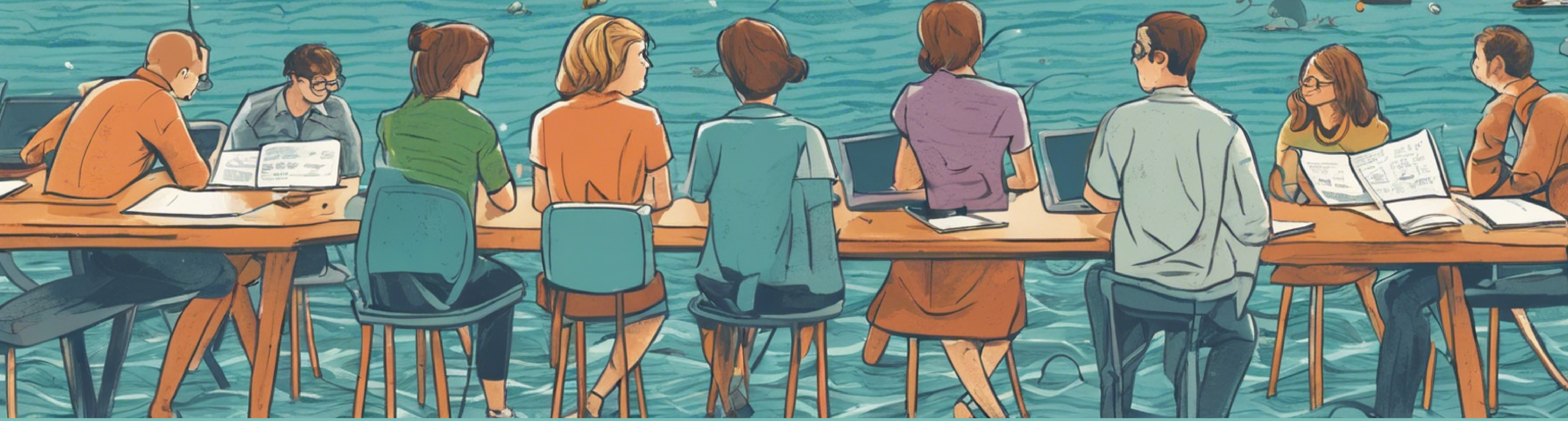


20代の水産研究者が考える○○ ～これまでの経験・価値観・研究の観点から～



日時：令和6年3月27日（水）13:00-16:30

場所：東京海洋大学品川キャンパス

企画責任者：米澤遼（東京大学）・立山和樹（マルハニチロ）

相馬智史（水産研究・教育機構）・加藤豪司（東京海洋大学）

13:00 開会挨拶・趣旨説明

13:05 魚類血液凝固系の魅力 ～ネコザメ新奇血液凝固カスケード～

松井 信太郎（九州大学 農学研究院 水族生化学分野 特別研究員 PD）

13:35 ウミウシに魅せられてから博士進学まで-大学院生としてどう生き残るか-

溝端 秀彬（東京大学大学院 農学生命科学研究科 特別研究員 DC1内定）

14:05 三次元潜水行動解析からみた定着氷下のアデリーペンギンの採餌戦略

渡邊 日向（国立極地研究所）

14:50 学部卒でも大丈夫！—水産機構に就職してから博士号をとるまで—

半沢 祐大（水産研究・教育機構水産資源研究所 社会・生態系システム部）

15:20 外食企業における水産研究

鈴木 凜太郎（株式会社ゼンショーホールディングス 中央技術研究所）

15:50 パネルディスカッション

16:20 閉会挨拶

水産分野は水圏環境に生息するあらゆる動植物を対象とするため、研究手法やその成果の活用方法は多岐に渡る。我が国では、企業・大学・公設研究所などあらゆる機関においてユニークな水産研究が行われており、海洋大国「日本」を支えている。しかし、各機関に所属する若手研究者同士の相互理解や

議論の場は限定的であり、水産研究の分野に進む20代も決して多くはないのが現状だ。そこで、本シンポジウムでは異なる機関の若手研究者同士を繋げ、より多角的に水産研究を議論する場を設けることを目的とする。さらに、未来の水産業・水産研究を担う学生に、各研究機関で活躍している若手研究者の経験、価値観、研究やその思いを知ってもらう非常に有意義な機会となる。本シンポジウムを、若手水産研究者の有機的な異分野融合と、次世代の水産研究者の種を育てる場としたい。

シンポジウム
お申込みはこちら！



若手の会HP

